

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社 タロサ	代表者	長谷川 祐一
事業所名	よつくらタローの家	管理者	鈴木 勝則

法人・事業所の 特徴	医療連携が図られ、医療依存の高い利用者様も受け入れ態勢が整っている。 緊急依頼にもリアルタイムで受け入れる体制を整備している。 同じ事業所が近隣にあり連携や協力体制がとれている。
---------------	---

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者		利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	2人	4人	人	人	1人	1人	1人	3人	3人	15人

項 目	前回の改善計画		前回の改善計画に対する取組み・結果		意見		今回の改善計画	
A. 事業所自己評価の確認	サービス評価の目的を全職員で再確認し共通認識を深める。検討した対応策は共有しサービスの質の向上に努める。		サービス評価の目標を全職員で共有し目標を明確にすることができた。積極的な意見交換も得られ共通認識を持つことでサービスの質の向上に努めることができた。		スタッフの間でしっかりと自己評価を行い、事業所内の所定の場所に掲示し職員全体で共有していこうという意思が感じられました。		全職員が統一した情報の把握と具体的な対応案を検討し、サービスの評価の目標を共有しサービスの質の向上に努める。	
B. 事業所の しつらえ・環境	感染対策に留意し、年間行事計画を立案する。また季節を感じられる環境作りに努め、居心地の良い空間作りを確保する。		感染防止対策の為、家族や地域の方との交流に制限の中、季節を感じられる行事や行事食の提供、また季節に合わせた展示を行った。個人に応じた好みの物を部屋に置き心地よい空間作りに努めた。		新型コロナウイルスが流行になり、普通の日常に少しずつ戻ってきていますが、逆にこういった介護の事業所や施設は高齢者が多く、行事への参加などは難しいと思います。が、そんな中でも室内の行事を充実させ、利用者を楽ませる工夫が出来ていると思います。		感染対策を継続し、季節の行事を実施し季節を感じられるよう支援する。また居心地の良い環境作りを行い整備に努める。	
C. 事業所と地域の かかわり	積極的に地域の資源を活用し、状態の変化にも即時的に対応できるように整備し、柔軟な支援の提供に努める。		感染症の動向を確認し感染対策に留意しながら医療機関や関係機関との会議に参加し情報を共有し連携を図ることができ、柔軟な支援に努めた。		事業所での看取りなども医師との連携がなければ難しいと思いますのでしっかりと医療機関との連携が図れ、充実していると思います。		柔軟な支援が提供できるよう積極的に地域の資源を活用し、即時的に対応する為情報の収集と整備に努める。	
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	本人のニーズを把握し必要な支援のため、施設が持つ機能と地域にある機能を適合させ本人を支える支援に努める。		地域の資源の活用は感染の状況からあまり積極的には活用することは出来なかったが、本人のこれまでの生活スタイル、人間関係等は本人、家族から情報収集することで今までの暮らしを理解し支援することができた。		類になっても高齢者の方が地域に参加は難しくかったのではないかと思います。世の中が通常に戻る中での支援は大変ご苦労されたのではないかと思います。が、今後も地域とのつながりが途絶えない支援を続けてほしいと思います。		本人の自宅や地域での暮らしをサポートし、必要に応じ地域の資源を活用し本人の暮らしを支える支援に努める。	

E. 運営推進会議を活かした取り組み	感染状況や地域の活動内容を確認しながら、地域の声を傾聴し意見を運営に反映させサービスの質の向上を図る。	コロナが5類に移行となったが、コロナ、インフルエンザの感染状況が時期により増加となり施設内で運営推進会議を開催することが困難だった。また地域内の活動参加も自粛中であり意見交換の場を確保することが出来なかった。会議の開催に向け委員会のメンバー調整を進めて行く。	5類となっても中々事業所内での会議などには高齢者の方もいる室内で行うのは感染のリスクを考えると難しいのではないかと思います。事業所としても密をさける工夫や開催を予定しても周りの感染状況で断念したことも多いかと思います。書類での内容確認が多かったですが、活動内容などはしっかりと把握できましたので引き続き高齢者を第一に考えながら取り組んで頂ければと思います。来年度も感染状況を見ながら少しでも会議開催出来れば、参加させて頂きたいと思っていますので宜しくお願いします。	地域の活動内容を確認し、感染対策に留意し会議を開催。会議で検討した内容は全職員で情報を共有し事業所全体で取り組み質の確保に努める。
F. 事業所の防災・災害対策	防災計画に添い、避難訓練を実施し防災、災害対策に取り組む。避難訓練時には地域の協力が得られるよう体制を整え、利用者様の状態や施設の構造について理解が得られるよう連携の強化を図る。	感染防止に留意し、消防計画に添い火災・地震・風水害・津波を想定し避難訓練を実施した。また避難経路は全職員でハザードマップで確認した。BCPを作成し、災害時の対応と備品の準備、補充の見直しを行った。	消防士立ち合いでの訓練を行い、しつかりとした避難訓練を行っていると思います。災害はいつどんな時に起こるか予想もつかない場合も多く、今年から義務となったBCPをしつかり作成し対応して頂くください。災害時には少しでも協力できるように地区としても体制を整えていきたいと思っています。	感染防止対策を継続し防災計画に添い避難訓練を実施する。BCPの内容を確認し準備、対応を全職員で共有し安全を確保する。また実践を通しBCPの内容を見直し施設に合った対策を充実させる。

タローの家

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年 12月 24日(日)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	鈴木・大河原・佐藤・サム

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	0人	0人	9人

前回の改善計画	職員間での連携が取れるように、ミーティング等の場を活かしてスタッフに説明し職員同士で報連相や連携が出来るように1人1人に意識付けをしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎日のミーティングで利用者の申し送りをしっかり行い、夜間、日中の状況を把握して対応についてなど職員と共有して行うことができた。 職員の中にはミーティング内容の理解が難しいとの声もあり今後の課題になっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	7	0	0	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	7	0	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	4	3	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	4	3	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
新しく利用開始の方は周りの環境や、人物とも中々馴染めない為、自己紹介や他者と会話の機会を作り、職員も輪に入ってつなぎ役などになることで慣れない方もスムーズな受け入れができた。 家族も老々介護や遠方に住んでいる。身寄りがいないなどのケースも多く、不安の訴えやうまく利用が出来るかなど相談があり、不安解消に会えなくても電話やビデオ通話、利用状況の報告など密に行い関係づくりに努めることができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員の中ではミーティングでの話の内容を理解できないとの声があり今後の課題となった。 利用をすることを目的として本人や家族が必要としている支援が出来なかったケースもあった。 言葉のかけ方などうまく伝えられない、声かけがうまくできないこともあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
朝のミーティングを継続しながら、内容を理解できない職員などが話し合いの内容を理解できるように努める。その日の休息後の時間など使用して話し合いの機会を設けたり、個別で内容の説明を行うなどしながら全職員が内容を共有できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 12 月 25 日 (月)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	鈴木・熊谷・大野・大谷・新川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	5 人	3 人	0 人	9 人

前回の改善計画	目標に対して支援した内容、意見が良いものであればミーティング等で発言する機会を作りそれを全体で取り組む体制を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	個人の目標に対しての取組など話し合いの機会にミーティングを活用することができた。 良い意見は職員間で共有して支援を行うことができた。 個人の目標内容について理解できない職員への対応がうまく出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	5	3	0	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	7	1	0	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	5	3	0	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	6	3	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 朝のミーティングをうまく活用して利用者様への支援内容など共有して取り組むことができた。 ミーティングで職員みんなで意見交換が出来、色々な意見を出しあうことができた。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること やはり技能実習生や外国人労働者はミーティング記録では理解ができないとの訴えもあり口頭で説明はするが専門的な内容は理解することが難しかった様子。 管理者、介護支援専門員、看護師からの意見は良く聞かれたが介護職員からの意見などは少なく感じた。 まだ話しやすい環境づくりが不足していた。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
新規利用者がサービスを利用開始する前後でケアカンファレンスを開いて、目標を全職員で考える。その目標内容をどのようにして達成していくか計画を立てることで個人の目標にそった支援を行う。目標は期間を決めて評価が出来るように取組み全職員で評価、見直しを行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 1 月 9 日 (火)
3. 日常生活の支援	メンバー	鈴木・大河原・佐藤・サム・アミ・大谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	6 人	2 人	0 人	9 人

前回の改善計画	事前調査などで本人の暮らし方や今後必要であると思う支援の在り方などについて全職員で共有できるように、機会を設けていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	新型コロナや調査時の受け入れ状況では病院などはまだ慎重で本人と面会出来ないなどあるも、タブレットや1利用者に対して数回実調を重ねるなどして状態を把握し職員間での共有をしっかりと行い受け入れ、受入後も対応が行えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	5	3	0	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	6	0	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	3	3	0	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	2	2	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	3	2	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人からの希望を聞いて、トイレなどは夜間起き上がることが大変、間に合わないこともあるなどの意見から日中はトイレ、夜間はPトイレを使用するなど本人の要望に応えた支援ができた。 本人からの買い物で外出の希望などを聞き取り、家族様と連絡を取りながら都合など確認して本人の気持ちに答えることができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の生活環境の暮らし方について10個以上把握しているかと聞かれると難しい。 介助を要する利用者などはスタッフが数人体制で行う必要もあり、本人家族に了承はもらうも食事時間を早くするなどこちらの都合になることもあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
日々関わっている介護職員が、本人の暮らしを把握する為、信頼と馴染の関係を築きながら利用時の活動を通して知れた情報は皆で共有できる体制をとる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 1 月 12 日 (金)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	鈴木・佐藤・竹永・サム・アミ・大谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	4 人	4 人	0 人	9 人

前回の改善計画	本人の生活スタイルや人間関係、今までの暮らし方の把握についてもミーティング等で確認する機会を作り、その内容にそった支援を継続することができる。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人の生活スタイルや人間関係は利用前の情報では中々つかめなかったが、利用後、介護職員や看護師などから本人の直接会話の中に盛り込んで把握することがある程度できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	2	3	4	0	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	2	4	1	2	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1	3	2	3	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	3	4	2	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ケアマネネットワークなど活用して地域の民生員との交流を図ったり、逆に民生員から家族への助言などで緊急通報システムの活用など資源を活用する方向性を検討するなど連携をとった。 事業所を利用していない時の把握はサービス付高齢者住宅に住んでいる方などはそちらに滞在している職員と連携し何か不安や要望があった場合はすぐに対応できるようにした。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
まだ自宅からの通いや宿泊対応の利用者に対してはこちらでの生活が主になり本人の今までの生活などに着目することが出来ていないと感じる。 理解したことを事業所で活かせるような対応をどのようにして行うかの話し合いが少なかった。 ケアマネ、看護師はサービス付高齢者住宅の職員とも連携を図りそちらに住まいの方などは様子把握が出来たが、介護職としては食事の準備などで接することはあったが実際プライベート空間でもありどのように生活しているかは直接は把握できなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用前に管理者、計画作成担当者を中心に情報把握に努めていく。利用開始になってからも関わりを持つ介護スタッフなどから本人の生活スタイルなどについて話があった際には、日々のミーティングの中で報告しながら全職員で把握に努め理解していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 1 月 15 日 (月)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	鈴木・佐藤・熊谷・サム・大谷・新川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	6 人	2 人	0 人	9 人

前回の改善計画	感染状況を確認しながら利用者が使用していた資源や馴染の関係、小規模独自のサービスを用いて柔軟な対応を継続する。
前回の改善計画に対する取組み結果	時間にとらわれない、買い物支援や訪問散髪、訪問マッサージなども柔軟に対応できた。 地域で馴染のある神輿祭りなどに利用している方全員で参加するなどできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	4	4	0	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	7	0	0	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	5	0	0	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	6	0	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 事業所内で多職種であってもミーティングなど通して連携して対応がとれた。 朝早くからの通い支援や夕方家族帰宅が遅くなり不安があるなど要望を聞いて延長で対応するなど 1 人になる時間を軽減する支援がとれた。 本人の気分や状態などによっては短時間での利用や、入浴だけの支援、宿泊だけで対応など柔軟な支援ができています。 訪問散髪や訪問マッサージ、お神輿見学など地域の資源を活用したプランが立てられた。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 家族の要望で宿泊対応になり、利用者自身は不満で帰宅を希望するなどニーズにあった支援が取れていない時もあった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
本人、家族の生活状況を踏まえ通所、宿泊など柔軟な対応を取り入れ、利用者の気持ちに寄り添った支援を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 1 月 16 日 (火)
6. 連携・協働	メンバー	鈴木・佐藤・竹永・熊谷・大野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	3 人	5 人	0 人	9 人

前回の改善計画	地域での会議に参加し、地域での行っている活動を把握し、貢献できることは一緒に参加させてもらい、その活動内容についても職員が分かるようにミーティングで共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	管理者が地域の会議等に参加をして地域での取組みなどミーティングなどで職員へ説明し共有していくことができた。 技能実習生に対してはまだその必要性などうまく伝えられない課題も残った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか?	2	2	5	0	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	1	2	5	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?	1	1	7	0	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	1	7	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
この地域の医療対応の研修会への参加や地域包括支援センター主催の研修や勉強会に参加するなどできている。 新規受け入れの際には家族や主治医との面談などしっかり行い受入など行った。 必要時には家族へ同行し医療機関受診の際に医師に日々の状態報告や医師への質問など答えるなどして連携を図っている。 入院の際には医療機関に情報提供シートを用いて情報提供を行ったり、それだけではなく必要な情報などは連絡を取り合いながら共有し退院の際にも在宅生活の継続の為に理学療法士や福祉用具事業所、相談員などとカンファレンスを行い在宅での暮らしを支える支援を行った。 少しずつだが、利用者の友人や知人など訪ねてきた際に面会室など用いて受入ができた。 中地域ケア会議なども対面方式になったこともあり参加して地域の課題など共有できた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
会議などの参加は管理者やケアマネが中心で介護職員などは人数制限もあったが病院内での参加などは見送っている。参加した内容についてミーティングなどで共有できればよかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
継続して地域での会議を把握しながら管理者が中心に参加を行い、地域での活動についてミーティングなどで職員に伝えていく。地域で行っている活動の中で団体でなくても個別でも参加できることはないかを話し合い、利用者、職員で参加できる体制を整える。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 1 月 17 日 (水)
7. 運営	メンバー	鈴木・熊谷・アミ・大谷・新川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	4 人	3 人	0 人	9 人

前回の改善計画	全スタッフが持っている意見が出せるように、ミーティングを活用する。どうしても意見がうまく出せない場合などは文章や個別で確認できる体制をとり話しやすい環境作りに努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	積極性はあまり感じなかったが、それでも内容に対する意見などはミーティングを活用することで共有できた。個別での些細なことでも意見があれば確認して運営に反映することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	3	5	0	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6	1	0	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	2	5	0	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	1	7	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ミーティングを活用して事業所内で利用者様への支援の仕方など皆で考える機会が設けられた。利用者様や家族からの意見、時には苦情も頂くことがあるのでしっかりと皆でその内容を共有し改善していくことができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員同士の報連相がうまく出来ていないと感じた。 地域の方からの相談など対応する体制をしっかりとることがなかったことで相談や意見などにはできないと感じた。 コロナの影響もあったが積極的に地域とかわることがなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ミーティングなど行っても発言している職員に限られてしまうことが多い傾向にある。意見交換をしやすい環境作りを行い、誰でも気軽に発言ができるように努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 1 月 22 日 (月)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 鈴木・大河原・佐藤・熊谷・サム・アミ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	5 人	3 人	0 人	9 人

前回の改善計画	研修に参加出来る職員はしっかり参加し、参加できなかった職員も資料や勉強会を通して確認し、個人のスキルアップに努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修参加は勤務している職員は積極的に参加してもらうことができた。勉強会は時間がとれず中々開催できなかったが、資料など掲示して各職員に通知することはできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	7	0	0	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	3	5	0	9
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	8	0	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	4	1	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
技能実習生や外国人労働者にもヒヤリハットの書き方やどうして必要なかを伝えながら一緒に考えることで理解につながる事ができた。 資格取得なども職員の気持ちを確認し認知症基礎研修や初任者研修、実務者研修など分からない所は教えたり一緒に考えたりしてスキルアップを目指す対応がとれた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
研修参加は勤務調整して出来る限り参加を検討するもコロナや職員の休みで参加出来ないケースもあった。研修参加はどうしても参加する方が限られたりする。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
内外での研修参加は勤務調整をしながら出来る限り参加を継続する。参加するだけでなく参加した職員以外でもその内容が分かるように研修会報告会などの機会を設けることで情報共有を行い知識の向上に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 1 月 25 日 (木)
9. 人権・プライバシー	メンバー	鈴木・佐藤・竹永・熊谷・大野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	3 人	1 人	1 人	9 人

前回の改善計画	身体拘束、虐待防止・プライバシーへの配慮といった研修を取り入れるだけでなく日々の介護に対してミーティングなどで振り返る機会を持って見直しを出来る体制を作っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ミーティングを活用して日々の介護の申し送りをを行い、それが身体拘束につながるのかなど話し合いの機会を設けた。虐待も、自分たちが虐待をしないことももちろんだが、利用者の身体状況チェックなどもしっかり行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	4	5	0	0	9
②	虐待は行われていない	8	1	0	0	9
③	プライバシーが守られている	4	5	0	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	3	3	2	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	4	0	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束や虐待等について研修を取り入れることはもちろんだが、日々の関わり方についてもミーティングを用いて話し合いを行い身体拘束以外の方法や体制をとることで予防、回避に努めた。 個人情報などは帰宅時にはデスクを確認して出しっぱなしなどに十分注意し使用している職員とお互い確認しあって保管場所にしっかり管理を行った。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
プライバシーに関してどうしても難聴の方への声かけが大きくなってしまい配慮に欠けていると感じたこともあった。 成年後見制度などに関する研修は行わなかった。外部研修にも調整できずに参加を見送った。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
身体拘束・虐待防止や人権擁護の研修を継続して取り入れ、利用者本人を尊重した言葉かけが出来るようにしていく。	